

80歳以上の方の胃内視鏡検査、大腸内視鏡検査 および胃部レントゲン検査の年齢制限について

胃内視鏡検査や大腸内視鏡検査には、悪性腫瘍の早期発見など多くの利点がありますが、合併症などの有害事象が報告されているのも事実です。

特に80歳以上の方では、内視鏡検査中に心拍数や血圧などの循環動態に悪影響が出るリスクが高くなります。

また、胃部レントゲン検査では、バリウムを誤って飲み込むことで肺炎を引き起こすリスクや、便秘が原因で腸閉塞を引き起こすリスクが指摘されています。

こうしたリスクを踏まえ、80歳以上の方がこれらの検査を受ける際には、有害事象が発生した場合に迅速に対応できる病院や診療所などの医療機関で検査を行うことを推奨する自治体や健診施設が増えています。

当センターは、病院から離れた独立した健診施設であるため、受診者の安全を考慮した結果、2025年4月より胃内視鏡検査、大腸内視鏡検査および胃部レントゲン検査の受診年齢を原則79歳までとさせていただくことになりました。

皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



社会医療法人仁愛会

浦添総合病院健診センター